よろこび

日蓮宗 顕聖会
本　山　妙顕寺
長音山　本要寺

『よろこび』三十九

貫首　齊藤　日軌　日蓮宗のお葬儀　経の力

日蓮宗の葬儀は、お経の力、仏様のお慈悲による神通の力、お題目の力によって死者を浄土に導きます。

その経の力は妙法経力即身成仏と申し、経の力によって私たちがこの世で肉体を持ったまま成佛できるとされています。「仏法の妙なる御法の御力をや。〜妙法経力即身成仏と伝教大師も釈せられて候。心は法華経の力にてはくちなは（蛇）の龍女も即身成仏したりと申す事也。御疑候べからず。」（妙法尼御前御返事）このお経の説話は、法華経を信じ、持つことによる力を説いています。

この法華経の提婆達多品（だいばだったほん）のお話は、娑竭羅（しゃから）龍王の八歳の娘が、龍の身で幼い女性であるにもかかわらず、一瞬にして成仏したこと。すなわち南無妙法蓮華経の信仰と祈りで、皆が成仏できることを顕しています。

みおしえ

「まことではないものを、まことであると見なし、まことであるものを、まことではないと見なす人々は、あやまった思いにとらわれて、ついに真実（まこと）に達しない。

心すでにけがれを去り　まことであるものを、まことであると知り、まことでないものを、まことではないと見なす人は、正しき思いにしたがって、ついに真実（まこと）に達する。」（法句経十一・十二　中村元訳）

物事や出来事、人物の真実を見抜き見きわめることは非常に難しいことです。犯罪、事件の本当の状況、動機、犯人を特定することは、多くのえん罪事件をみれば難しいことが分かりますね。痴漢、セクハラ、窃盗事件でも無実の人もいるわけです。

たとえば、マスコミのニュースが中立・公平だという先入観を捨て、同一の事件について複数のメディアがそれぞれ伝えていることを検証する必要があります。そうしてみると、報道機関のそれぞれの立場に相違があり、特定の視点が絶対ではない分かります。いろいろな情報をを得た上でそれらを総合判断し先入観を離れ自由自在にみることが大切です。観音経の観自在ですね。融通無碍の質直意柔軟な心で真実を正しくみることで私たちは悟りに向かっていけます。正しくみるという八正道の正見が非常に大切です。私たちは常に真実正しい方向に向かって進むことにより悟りを成就できます。

心の言葉

南無妙法蓮華経と唱え
正しく見、真実に到達しよう